

令和2年年度 公益財団法人日本拳法会第5回定例部長会 議事録

日 時：令和3年2月13日（土）14時00分開会 16時10分開会

場 所：大阪キャッスルホテル 6階

出席者：【会長】茂野直久

【副会長】藤川義人 岩尾勤 山本隆造 上田武司

【局長】（事業局）内田義春 （地域統括局）中野文武
（技術局）高 信志 （競技局）小泉賢一郎

【部長】（総務部）岡本雅一 （企画部）高田秀信 （財務）岡田晃
（経理）福岡今日一 （渉外）代理岡秀紀 （広報）肥田玄三
（国際）小林勉 （指導普及）山尾英一 （事業第一）蒲田新
（事業第二）松本良郎

【競技連盟部長】（社会人連盟）川岸正典 （学生連盟）藪達敏
（高校連盟）橋岡典昭 （実業団連盟）松原英樹

【府県連盟部長】（兵庫）筒井滋 （奈良）撫養義郎
（京都）村山守

【昇段級審議会副議長】 田中徳治、

【審判団】（団長）高 信志 （団長補佐）香美秀一 西光悦治

【監事】 中村安治

【設営】（財務部副部長）吉本有吾

【書記】（総務部次長）佐々和正

○ 議 題

1. 令和3・4年度役員改選について

- 令和3、4年度役員改選を進めるにあたり、議事進行を議長として総務部長が務める。
- 議事録書名人として、企画部高田部長・経理部福岡部長の2名を推薦。
- 役員改選の手順について説明。

公益財団法人日本拳法会の定款に従い、役員任期は2年で本年度改選となります。

定款では理事、監事は評議委員会の決議を持って決定し、理事会において代表理事(会長)を選任するとあります。

定款に従い役員改選は事業年度終了後、3ヶ月以内の評議員会・理事会で最終決定することと致しますが、拳法会慣例に従い本部長会で代表理事(会長)を選任し、代表理事が会長となります。

会長より副会長、審議会議長、審判団長を推薦頂き、本日決まりました会長、副会長、審議会議長、審判団長と後日選任頂きます局長職までを拳法会理事として評議員会・理事会に人事提案いたします。

それ以下の人事は会長一任と致します。

現行の部長会規定に於いては、部長会の決議事項は理事会に連動し承認・決定されるとあります。役員提案についても部長会決議を連動させても問題ないと考えます。

異議はございませんでしょうか？

⇒異議なし

○公益財団法人日本拳法会の会長に自薦他薦を問わず、推薦はございませんでしょうか？

- ・事業第二部・松本部長より茂野会長の推薦があった。
- ・広報部・肥田部長より山本副会長の推薦があった。

2013年から会長を足掛け8年、4期、務められています。歴代の会長が成しえなかった公益認定とか競技連盟の設立、Jスポの加盟を成し遂げられ数々の功績を残されたと思います。ただ長年にわたってされてきている弊害も出てきていると、私が思っているだけかもしれませんが。横谷事務局長も任期途中で辞められ、そういう弊害も4期8年と長い政権というとおかしいですが弊害も出てきていると思います。何回か部長会でもお話していたことがあり、会長からもそういうお話が出ていたのですが、全国連盟という允許団体、協議団体である競技連盟、允許団体と競技団体の両会長を兼任されているというのが、利益相反があると思う。柔道の講道館、柔道連盟はいろんな意味で弊害が出て対立があり、Jスポからいろいろ指摘を受けたという話はよく耳にする。拳法会から允許団体から競技連盟に対して資金を援助する、拳法会は資金を援助する立場であり競技連盟は資金を受ける立場であると思う。そうすると利害関係が発生するが、その会長が兼任というのはいろんな弊害があるのではないかというのが1つ。

Jスポの評議委員に就任されると聞いています。Jスポのガバナンスコードに抵触しないように茂野会長には競技連盟の会長として専念していただいて拳法会は山本副会長を推薦させていただきたいと思います。

○選挙を行うべきとの意見があり、選挙を行うこととなった。

肥田部長が推薦を行う予定であったため選挙用紙を用意されていた。

- ・総務部長により投票用紙のチェックを行い、会長、副会長に確認していただき配布。

○候補2名から基本方針を説明してもらい、その判断で投票することの提案があった。

<茂野会長>

競技連盟と允許団体の違いは以前から申し上げていた通りで、允許団体は全国連盟、拳法会が允許団体と拳法会の人には思っているかもしれないけど、中部も連盟も允許団体は全国連盟である。全国連盟の允許状を皆が持っているという形である。

拳法会が允許団体として認めてもらいたいというのがJスポに入ることと、拳法会が講道館のようなシステムになりたいというのが私の2つの考え方でした。Jスポはいろいろなトラブルもあったが結果的には入れて、これで片が付いた。後は允許が講道館のように拳法会に一つにまとめればよいというのが私の思いであります。その場合は中部、連盟に賛同してもらわなければならない。允許団体として仮定するのならば拳法会の人間が継続してやって行くなれば連盟も賛同はしてくれないであろうと考えて、いろいろと話はしてきた。

8年してきてJスポの評議委員になった。2019年6月に加盟。加盟に至るとき、Jスポと折衝し、またトラブルが内部で起こらないようにしてほしいと言われ、全国連盟会長、拳法会会長、競技連盟会長と兼務をしているのでそういう心配はないと思っていますと申し上げて、評議委員も受けさせてもらいやって行きたいと思っている。運営につきまして皆さんのコンセンサスをもらいながらやって行こうというつもりはありました。

従来は幹部役員会で投票選挙をしたりしており、今は部長会でこういう形で投票選挙をするというたちは望ましいことと思う。幹部役員会の中でやるよりも皆の部長会の中での相違に基づいてというのが一番いいことだと認識しております。問題はないと思います。

拳法会の会長職、競技連盟の会長職、全国連盟の会長職にしがみついてやって行こうという気は、ここにいる方も含めてそうだと思うがおられないと思う。しんどいことばかりだと思う。しかし皆さんが使命感をもってボランティアで活動されていますが、今、拳法会が脆弱になっていると感じています。競技連盟の中で全自衛隊拳法連盟、東京の連盟、中部、今までは拳法会がやって行くことについてきていてくれたが、拳法会自体の個々の限界が来ているであろうという気がしている。ボランティアだけやって行く限界、それも1つ、常に拳法会が今までのこの日本拳法を引っ張ってきた歴史はある。いま競技連盟が中央競技団体としての位置づけである中でこれをもう一つ飛躍させていきたいという思いが当然あるので、競技連盟に専念していただいたらというご提案ですが、あくまでこれは拳法会の会長も兼務している中における立ち位置で今までやってきている。

例えばどこの団体でもそうだが、自衛隊のトップの人だから競技連盟の発言ができる、連盟も中部も同じ。私もあと2年、基本的に定年制もそうなのだが、定款の中に入っていない。

しかし定年制は年齢制限ではなく年数制限が大きな流れとなっていると思う。それも含めていろいろな改革をやって行きたいと思う。

<山本副会長>

突然で驚いている。

茂野会長ががんばってこられて、Jスポに入れた。やっとこれからというときにコロナ過によって活動がストップ

茂野会長も言われましたがこの間に人事面もぎすぎすしてきた。横谷局長の退任もあり事務処理がタイトになってきたということと、競技連盟に入っているが、競技連盟のJスポからくる書類の多さ、大変な量がある。今初めて聞いて驚いているが、肥田部長の言われたように茂野会長に競技連盟に専念してもらい競技連盟の中の組織をきちんとして、1年間フリーズした組織をもう一回活性化しないと競技連盟がJスポから外されてしまうということになるのではないかと思う。今言われたので思いつかないが、その中で拳法会が茂野会長を支えていくということが非常に大事であると思う。敵対するのではなく茂野会長を支えて拳法会がやると、その中でみなさんがいろんな形で活動をもう一回自主的にやるということ。茂野会長が偉大過ぎるのでどんどん指示されますが、指示されるのと自分で考えて動くのでは非常に大きく差がある。自分で考えてこうすれば拳法会が良くなる、こうすれば人が増えるのでは、もっと希望者が増

えるのでは。指揮はどうするのか。事務処理していただいています、この事務の関係にしても全部取っ払ってやっていって良いのかという目標値を決めいつまでに、例えば事務、経理の方にせめて基本料のわずかでも給金を払えるようにするべきではないか。そのためには総合選手権の中で招待客、スポンサーの席を作って一番良い席で応援できるとか、いただいた広告料を拳法会の中で事務処理とか総合の事務方に払えるかなどの目標値を決めてやっていくことが大事であると思う。これから財務がしっかりしないとどんな組織もやっていけない。Jスポに対しての競技連盟の中でも会員制にして、会員制の中のいくらか金額を決めていくなどをして、競技連盟に入ったお金が拳法会、中部、東日本においていくという組織も作らないといけない。そのためには我々が拳法会を支え茂野会長を支えていく組織の中で競技連盟に優秀な人材が組織に入っていく茂野会長を支えていくことが大事である。

拳法会と中部、東日本の連盟とあるが、拳法会がしっかりして茂野会長を支えていくことを考えましたら茂野会長に競技連盟に専念していただき、拳法会は我々で下地を作って支えるという形が非常に良いのではと思う。茂野会長はスーパーマンですが、いろいろな役職をしていれば回らないこともある。時は一瞬で過ぎるので処理が遅れるということになるので、拳法会はそれぞれの持ち場で働き、茂野会長を支えることが大事。拳法会がしっかりすることは茂野会長が競技連盟会長として腕を振るうことになるのでその形を作っていけばと。

茂野会長と拳法会は一つのグループであるということで協力体制の中でやっていく。ただ仕事を少し上に傾けてもらうという話です。私は考えています。

○投票

無記名で該当者に○をつける。

開票作業は、茂野会長推薦の松本部長、山本副会長推薦の肥田部長、吉本さんの3名。

議長の立場なので岡本部長は投票しない。

○開票結果

令和3、4年は山本さんに決定。茂野会長 11 票、山本副会長 14 票、白紙 2 票

山本副会長よろしくお願ひします。

<茂野会長>

長らくみなさまご協力いただきありがとうございました。

今後、山本新会長を支えて拳法会がますます隆盛になることを祈念しております。

先ほどおっしゃっておられましたように、競技連盟の方も事務局長も給与を払うという形で進んでいます。

生半可や仕事量ではないと思うので一体となって進んで行きたいと思ひますので今後ともご協力をよろしくお願ひします。

○慣例では副会長、審議会議長、審判団長、を決めていただくことになっていますが、急なことからため決められない。

・選考委員会を立ち上げ、メンバーの公表はしない。

部署をよくご存じな方を何人か選ひ、そこで原案を作り、最終決定したい。

時期は早急に連絡する。

3月の部長会で発表する。

○山本新会長から、挨拶

<山本副会長>

これば正式に議長・・・会長に選ばれたことか？

<岡本総務部長>

連動させております。

<藤川副会長>

理事の人の賛否一応問うておいた方が良いのでは

<茂野会長>

それは、議長として仕切るのであれば、公益法人だから、らうかつにはできない。

意味は部長会規定の中で理事会にいつという形になっているけども、正式に決まるのは評議委員会が理事を決めて理事の中から代表理事を選任するシステムをとるとというのが公益財団。

今ここで決まったことはそれが認められる前提に基づいて進んでいくという形になると思います。

<山本副会長>

その通り。大学でも選ぶときには選考委員会を選び、一般の方からも選びその人から案が出たものを理事会にかけて評議にかけて決定することになる。

茂野会長と去年、一昨年、全国を回り、会長の苦労を、自衛官との会合、説明、熊本、御殿場、いろいろと行かせていただいた。

この努力はすごいパワーで皆を説得していき、Jスポになりました。

会長の後任になれば少しでも手伝い、任期まで頑張っ、茂野会長が競技連盟の会長として、いけるように、拳法会として皆さんとともに力合わせて支えていくことが大事だと思う。そのつもりで茂野会長と1, 2で支えていく。評議委員会、理事会で選ばれましたらよろしくご支援のほどお願いします。

⇒拍手

以降、省略。

以上（書記 佐々和正）

令和3年2月13日

議事録署名人

高田秀信 印省略

福岡今日一 印省略